

お互いさまのまちづくり
アニュアルレポート
2021

年次事業報告書

豊橋市お互いさまのまちづくり協議会



お互いさまのまちづくりアニュアルレポート2021について

このレポートは、「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン～支え合い活動 55 団体創出に向けて～」に関し、お互いさまのまちづくり協議会を構成する関係団体等の令和3年度の実績状況を整理し、その評価等を行ったものです。協議会で情報共有をし、コレクティブインパクト（立場を超えて互いの強みを出し合うこと）実現のための基礎資料とするとともに、関係団体等におけるアクションプランの理解促進のための資料とします。

I 支え合い活動の状況

1 今年度立ち上がった活動

令和3年度は新たに7箇所の支え合い活動が誕生した。

No.	名称	校区	場所	備考
1	青空ひろば	東田	宮下公園	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年設立。 まちの居場所活動。 豊橋市中央地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
2	てんとうむし その他	松葉	松葉校区市民館	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年12月設立。 地元有志が中心となって結成。 地域包括支援センターふくろうの立ち上げ支援により発足。
3	ぽかぽかの森 アンキカフェ	牟呂	アンキカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ等様々な講座の提供 地域包括支援センター真寿苑の立ち上げ支援により発足。
4	大清水元気サロン	大清水	大清水町公民館	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月設立。 地元有志が中心となって結成。 まちの居場所活動。 豊橋市南部地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
5	シクラメン (その他、予防 体操月3回)	富士見	富士見クラブ	<ul style="list-style-type: none"> 彩幸地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
6	すこやかクラブ	幸	幸校区市民館	<ul style="list-style-type: none"> 幸王寿園地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。

7	山口さんちの 体操教室	向山	自宅など	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月設立。 子ども食堂の主催者からの相談で、地域包括支援センターコープ豊橋中央が立ち上げ支援。
---	----------------	----	------	--

2 校区別の活動箇所数（協議会把握分）

お互いさまのまちづくり協議会が把握しているまちの居場所活動、助け合い活動などの支え合い活動は117団体（箇所）である。

校区名	支え合い		校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)	
	活動合計	居場所				助け合い
岩田	10	9	1	15,953	4,108	25.8%
豊	1	1	0	7,345	2,139	29.1%
東田	6	6	0	8,529	2,596	30.4%
八町	10	10	0	3,435	1,107	32.2%
松葉	1	1	0	6,787	1,932	28.5%
花田	2	2	0	7,211	2,138	29.6%
松山	2	2	0	6,598	2,047	31.0%
新川	5	4	1	5,636	1,715	30.4%
羽根井	3	3	0	8,777	2,314	26.4%
下地	1	1	0	6,409	1,632	25.5%
大村	2	2	0	3,372	969	28.7%
津田	1	1	0	3,798	1,051	27.7%
牟呂	3	3	0	13,663	2,905	21.3%
汐田	1	1	0	8,229	1,447	17.6%
吉田方	4	4	0	17,436	3,488	20.0%
高師	3	2	1	12,753	3,512	27.5%
幸	1	1	0	16,457	4,295	26.1%
芦原	3	3	0	7,671	1,972	25.7%
福岡	1	1	0	13,097	3,278	25.0%
中野	1	1	0	8,106	1,982	24.5%
磯辺	2	2	0	10,713	2,562	23.9%
大崎	3	3	0	3,293	891	27.1%
野依	2	2	0	6,413	1,394	21.7%
植田	4	4	0	4,918	1,555	31.6%
牛川	3	2	1	9,351	2,208	23.6%
鷹丘	4	3	1	13,569	3,589	26.4%

校区名	支え合い		校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)	
	活動合計	居場所				助け合い
下条	0	0	0	1,446	500	34.6%
多米	3	3	0	11,656	2,815	24.2%
岩西	1	1	0	9,224	2,353	25.5%
飯村	1	1	0	12,597	2,923	23.2%
つつじが丘	4	4	0	9,679	2,102	21.7%
旭	3	3	0	3,764	1,226	32.6%
栄	4	4	0	14,318	3,923	27.4%
天伯	2	1	1	5,166	1,331	25.8%
大清水	4	3	1	6,062	1,503	24.8%
富士見	2	2	0	6,544	2,017	30.8%
向山	2	2	0	6,988	2,203	31.5%
前芝	5	5	0	4,108	1,044	25.4%
西郷	0	0	0	2,180	761	34.9%
玉川	0	0	0	5,204	1,587	30.5%
嵩山	0	0	0	1,354	499	36.9%
石巻	1	1	0	2,745	894	32.6%
谷川	0	0	0	1,998	554	27.7%
小沢	1	1	0	2,291	727	31.7%
細谷	0	0	0	2,455	770	31.4%
二川	3	3	0	8,237	2,356	28.6%
二川南	0	0	0	9,756	2,311	23.7%
豊南	0	0	0	2,368	721	30.4%
高根	0	0	0	2,490	549	22.0%
老津	1	1	0	3,457	1,143	33.1%
杉山	1	1	0	4,224	926	21.9%
賀茂	0	0	0	1,280	437	34.1%
不明	0	0	0	12	0	-
計	117	110	7	371,122	97,001	26.1%

※人口は令和4年4月1日現在

Ⅱ アクションプラン取組状況

1 認知度向上プラン

(1) 「とよはし民児協だより」に支え合い活動を掲載（市・民生委員）

内容等：令和3年5月、支え合い活動及び各地区民児協の記事を「とよはし民児協だより」に掲載し、全民生委員児童委員550名に配付し、周知を図った。

(2) 老人クラブ連合会事業実施方針、重点目標への位置づけ（老人クラブ連合会）

内容等：令和3年度の重点目標に「支え合い活動の推進」を掲げ、昨年度に引き続き「お互いさまのまちづくり」について老人クラブ会員への周知を図った。

(3) SNSを活用した企画情報の発信（社会福祉協議会）

内容等：SNS（LINE）を活用した企画情報の発信を行うことで、お互いさまのまちづくりにつながる情報をより広く周知した。

(4) 広域的地域ケア会議の開催（基幹型地域包括支援センター）

内容等：中央、東部、南部の3つの圏域ごとに、各包括支援センターが集まり、地域の課題を共有する「広域的地域ケア会議」を開催した。会議において、圏域内の支え合い活動の状況を小学校区ごと集約し、お互いさまのまちづくりの現状把握を詳細に行った。

(5) 豊橋創造大学において特別講義を実施（活動者、市）

日時：令和3年5月31日

内容等：豊橋創造大学保健医療学部看護学科の学生を対象に、「公衆衛生看護学概論」の授業の一環として特別講義を実施した。支え合い活動者及び市職員が講師となり、「お互いさまのまちづくり」について、周知を図った。



(6) まちづくり出前講座を実施（生活支援コーディネーター、活動者、市）

日 時：令和3年7月29日、令和3年12月15日

内容等：石巻地区市民館及び本郷地区市民館において、地域住民を対象にまちづくり出前講座を実施した。生活支援コーディネーター、支え合い活動者及び市職員が講師となり、「お互いさまのまちづくり」について、周知を図った。

(7) 「とよはし健康マガジン」への掲載（12月号）（市）

内容等：豊橋市が発行する健康情報を掲載する電子マガジンに「お互いさまのまちづくりの推進」について掲載し、市内企業への周知を図った。

2 担い手創出プラン

(1) レクリエーションリーダー講座（社会福祉協議会）

開催日・場所：前期 令和3年5月～、後期 令和3年11月～（全6回）あイトピア

参加者：前後期合せて12人

内容等：高齢者を対象としたレクリエーション活動の理論と実技を学ぶ機会を設けた。

(2) 支え合い活動等支援講座①（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和3年11月19日 あイトピア

参加者：27人

内容等：傾聴の大切さ、コツ

(3) 支え合い活動等支援講座②（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和4年2月9日 あイトピア

参加者：9人

内容等：いますぐ使える福祉レク

(4) ボランティアはじめの一步セミナー（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和4年3月5日 あイトピア

参加者：10人

内容等：ボランティア団体の紹介や活動者との面談

(5) 福祉レクリエーションボランティアセミナー（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和4年2月～（全6回）あイトピア

参加者：2人

内容等：講義や実技でレクリエーションを学ぶ

(6) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和3年9月9日 青陵地区市民館

内容等：「生活支援コーディネーターの役割」についての講義を実施した。

(7) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和3年12月23日 豊橋市民文化会館

内容等：「傾聴が介護予防につながる」についての講義を実施した。

(8) 東三河生活支援コーディネーター連絡会（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和3年11月10日（水）豊橋市役所

参加者：東三河8市町村・西尾市・幸田町の行政職員及び生活支援コーディネーター

内容等：末永和也氏による講演会「生活支援コーディネーターの活動と協議体が生み出すつながり」を実施した。また、参加市町村による情報交換や事例発表を行った。

(9) スキル向上及び知識習得のための会議・研修への参加

○生活支援コーディネーター

会議・研修名	会議・研修開催日
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	6/30, 7/20, 1/19
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/10
子どもの居場所づくりネットワーク会議	12/3
「下条を考える会」参加	-

○活動者

会議・研修名	会議・研修開催日
子どもの居場所づくりネットワーク会議	12/3
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/10
「下条を考える会」参加	2/8, 4/2, 5/6, 6/7, 9/23 10/16, 11/27, 12/25

○市

会議・研修名	会議・研修開催日
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	6/30, 7/20, 1/19
東三河生活支援コーディネーター連絡会（豊橋市主催）	11/10

3 活動応援プラン

- (1) 支え合い活動ワークショップの開催（生活支援コーディネーター、支え合い活動者、市）
 開催日・場所：令和3年4月16日 豊橋市役所
 内容等：支え合い活動団体の立ち上げを検討している方々に対し、立ち上げにあたっての相談や、生活介護支援サポーターとの意見交換を実施した。
- (2) ボランティア活動保険の紹介（社会福祉協議会）
 内容等：ボランティア活動中の万一の事故に備える「ボランティア活動保険」を引き続き運用し、周知を図った。
- (3) 支え合い活動参加者保険の紹介（市）
 内容等：支え合い活動が取り組みやすい環境整備を目的とした、活動中の参加者の事故を補償する「支え合い活動参加者保険」を引き続き実施し、アクティブシニア情報紙や市ホームページに掲載することで周知を図った。
- (4) サロン活動への支援（老人クラブ連合会）
 対象者：サロン活動団体 19団体
 内容等：サロン活動を普及拡大するため、老人クラブ連合会としてサロン活動をする老人クラブに対して助成金を交付した。
- (5) 地域包括支援センターによる立ち上げ支援

地域包括支援センター	内容
中央	・「青空ひろば」の立ち上げに向けた相談に対応。
ふくろう	・「てんとうむし」の立ち上げに向けた相談に対応。
真寿苑	・ぼかぼかの森アンキカフェの立ち上げに向けた相談に対応。
南部	・「大清水元気サロン」の立ち上げに向けた相談に対応。 ・植田校区における立ち上げに向けた相談に対応。 ・磯辺校区における立ち上げに向けた出前講座の実施及び相談に対応。
彩幸	・「シクラメン」の立ち上げに向けた相談に対応。
幸王寿園	・「すこやかクラブ」の立ち上げに向けた出前講座を実施。
コープ豊橋 中央	・「山口さんちの体操教室」の立ち上げに向けた相談に対応。

- (6) 生活支援コーディネーター・支え合い活動者による立ち上げ支援
 ・下条校区の相談に対応

- ・磯辺校区の相談に対応
- ・大清水校区の相談に対応

(7) 地域包括支援センターによる活動安定化支援

【東部地区】

地域包括支援センター	内容
東部	・「きてみてつつじ」において月1、2回集まりに参加。
さわらび	・「金田住宅ふれあいサロン」において、参加者訪問時に包括だよりを活用。 ・「洗心会」において月1回定例会に参加。
赤岩荘	・「みんなの広場」において月1回出前講座を実施。 ・「東町サロン」において年2回出前講座を実施。 ・「鷹丘料理教室ウェルカム」の集まりに年3回参加。 ・「牛川住宅集いの会」の集まりに年1回参加。
がコープ 豊橋	・「ふたばサロン」において年4回出前講座を実施。 ・「レインボー」において年4回集まりに参加。 ・「ハッピークラブ」において年4回集まりに参加。 ・「岩田ストレッチ会」において年4回集まりに参加。 ・「中岩田元気会」において年2回出前講座を実施。 ・「のんほい」の集まりに毎月参加。 ・「東岩田長寿会」において年3回出前講座を実施。 ・「壮健会」において年1回赤岩荘包括に同行。
尽誠苑	・「にここに会」の集まりに年1回参加。

【中部地区】

地域包括支援センター	内容
中央	・「青空ひろば」の立ち上げに向けた相談、集まりに月2回参加。講座の実施。 ・「らく楽クラブ」の集まりに年3回参加。打ち合わせの実施。
コープ豊橋 中央	・「山口さんちのハピネス食堂」の集まりに年5回参加。 ・「ふれあいサロン吉田」において月1回出前講座を実施。 ・「いきいきクラブ」において年1回出前講座を実施。 ・「健康体操松山の会」において年1回出前講座を実施。 ・「えんがわ」の集まりに週1回参加。 ・「向山東町わ会」において年1回出前講座を実施。 ・「しゃべらまい会」において年2回出前講座を実施。

アースサポ ト豊橋駅西	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康花田会」の毎月活動状況を確認。 ・「羽根井クラブ」の毎月活動状況を確認。 ・「仲良し会」において年2回出前講座を実施。
ベルヴェー ハイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉川男女の会」において年1回出前講座を実施。 ・「とまり木カフェ」の集まりに月1回参加。
真寿苑	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの実家」の集まりに年4回参加。状況確認と相談対応。 ・「はまぐり会」において年4回状況確認と相談対応。 ・「キラキラ青竹会」の集まりに年4回参加。出前講座を実施。 ・「PPK」の集まりに年2回参加。状況確認と相談対応。 ・「寄りあい」の集まりに年2回参加。 ・「あいのみ会」の集まりに1、2か月に1回参加。出前講座を実施。 ・「どんぐりの会」の相談対応。 ・「みんなの広場」に対し半年に1回活動状況を確認。 ・「あゆみの会」に対し年1回状況確認（活動休止中）

【南部地区】

地域包括支 援センター	内容
南部	<ul style="list-style-type: none"> ・「大清水ささえあいの会」の集まりに年4回参加。出前講座を実施。 ・「大清水校区見守りの会」の集まりに年3回参加。出前講座を実施。企画の相談を実施。 ・「なでしこ会」において年4回出前講座を実施。 ・「うえたひだまりの会」の集まりに年1回参加。 ・「しあわせクラブ」の集まりに年2回参加。 ・「ひこばえ」において年1回出前講座を実施。 ・「木曜会」の集まりに年9回参加。出前講座を実施。 ・「生き生きクラブ」において年1回出前講座を実施。
弥生王寿園	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひなたぼっこ」において年1回出前講座を実施。
福祉村	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらの会」の集まりに月1回参加、年2回出前講座を実施。 ・「元気会」の集まりに月1回参加。年2回出前講座を実施。 ・「ひだまりの会」の集まりに月1回参加。 ・「あしの会」の集まりに年1回参加。 ・「楽笑会」の集まりに年1回参加。 ・「しらかば会サロン」の集まりに年1回参加。
彩幸	<ul style="list-style-type: none"> ・「天津よりみち会」の集まりに年2回参加。 ・「よってかまいか」の企画の相談を月1回実施。

(8) 生活支援コーディネーター及び支え合い活動者による定例会議の開催（適宜市も参加）

開催日：令和3年4月16日、5月25日、6月23日、7月28日、8月31日、9月22日、
10月27日、11月24日、12月22日、令和4年3月17日

場 所：豊橋市役所 あいトピア

内容等：支え合い活動の周知・立ち上げ応援等の活動方針を協議することなどを目的として開催した。

(9) お互いさまのまちづくりネットワークの運営（市）

市内の支え合い活動団体の状況を把握するとともに、団体相互のネットワーク化やお互いさまのまちづくり協議会との連携体制を構築するため、登録制度を運営した。令和3年度は、14団体が新たに追加され、合計で50団体の登録となった。登録団体向けに、市やお互いさまのまちづくり協議会からの情報提供や、市ホームページ等での活動紹介を実施した。

(10) コロナ禍における支え合い活動状況アンケートの実施及び報告書の作成（生活支援コーディネーター連絡会、地域包括支援センター、市）

内容等：コロナ禍における市内の支え合い活動団体の活動状況について、アンケート調査を実施し、その結果を報告書としてまとめた。当該報告書を各団体へ配付するとともに、市ホームページへ掲載し、支え合い活動者が活動を継続・再開する上で参考となる情報の周知を図った。

Ⅲ 総括

1 総合評価

令和3年度から第2期お互いさまのまちづくりアクションプランの計画期間が開始した。第2期アクションプランでは、令和3年度から8年度までの6年間で支え合い活動団体55団体創出することを目指しており、初年度となる令和3年度は7箇所の新たな支え合い活動が創出された。

令和3年4月から6月にかけて市が生活支援コーディネーター連絡会及び地域包括支援センターとともに実施した「コロナ禍における支え合い活動状況アンケート」では、回答した団体のうち約半数の団体が活動を自粛・中断しており、そのうちの多くの団体が他者とのコミュニケーション不足や引きこもりを懸念していることが明らかとなった。このような厳しい現状のなか、オンラインでの交流や手紙・回覧板を使った非対面・非接触で工夫を凝らしながら活動を継続している団体もあり、制限があるなかでも「お互いさま」の取組みが進められていると認識している。

アクションプランにおける各プランにおいて、認知度向上に関しては、SNSを活用した企画情報の発信や換気・手指消毒といった感染症対策を講じた講義や会議の開催を行い、お互いさまのまちづくりの意義や必要性を広めることができた。

担い手創出に関しては、社会福祉協議会開催の各種講座やセミナーの開催により活動の担い手へ学ぶ機会を提供したほか、市・生活支援コーディネーターによる講座で市民の意識向上を図ることができた。

活動応援に関しては、多くの地域包括支援センターが定期的に支え合い活動に参加し、ケースに応じて助言を行うことで、活動継続を下支えしている。併せて、お互いさまのまちづくりネットワーク登録団体の活動を市ホームページ等でPRすることで、それぞれの支え合い活動の魅力を伝え、継続性の確保へとつなげることができた。

全体としては、昨年度に引き続きコロナ禍での自粛による制限があったものの、お互いさまのまちづくり推進へ向けて各自ができることを着実に進めることができた。

2 今後の展開

来年度は「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン」の2年目となり、目標の支え合い活動55団体創出に向け、より一層の取組みの推進が求められる。コロナ禍での新しい生活様式の中で各自が工夫を凝らし、目標達成に向けた取り組みを確実に継続していくことで、地域包括ケアシステムの推進を図ることとする。